

中野区教育委員会会議録

令和元年第15回定例会

令和元年5月24日

中野区教育委員会

令和元年第15回中野区教育委員会定例会

○日時

令和元年5月24日（金曜日）

開会 午前10時00分

閉会 午前10時35分

○場所

中野区役所5階 教育委員会室

○出席委員

教育委員会教育長 入野 貴美子

教育委員会委員 渡邊 仁

教育委員会委員 田中 英一

教育委員会委員 小林 福太郎

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

○出席職員

教育委員会事務局次長 戸辺 眞

子ども・教育政策課長 永田 純一

学校再編・地域連携担当課長 伊藤 廣昭

保育園・幼稚園課長 濱口 求

指導室長 宮崎 宏明

学校教育課長 石崎 公一

子ども教育施設課長 塚本 剛史

子ども特別支援課長 中村 誠

○書記

教育委員会係長 青木 大

教育委員会係 香月 俊介

○会議録署名委員

教育委員会教育長 入野 貴美子

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

○傍聴者数

10人

○議事日程

1 協議事項

(1) 中野区立上高田小学校・新井小学校の統合について（子ども・教育政策課）

2 報告事項

(1) 教育長及び委員活動報告

- ① 4月26日 ひがしなかの幼稚園訪問
- ② 5月 8日 小学校教育研究会定期総会
- ③ 5月10日 中野第一小学校開校式
- ④ 5月10日 第23期議員初顔合わせ会
- ⑤ 5月10日 平成31年度中野区立中学校PTA連合会総会・懇親会
- ⑥ 5月17日 中学校長会との意見交換会
- ⑦ 5月20日 平成31年度中野区立小学校PTA連合会総会・懇親会

(2) 事務局報告

- ① 令和2年度使用中野区立小学校教科用図書採択に係る教科書展示会の実施について（指導室）

○議事経過

午前10時00分開会

入野教育長

おはようございます。

定足数に達しましたので、教育委員会第15回定例会を開会いたします。

それでは、議事に入ります。

本日の会議録署名委員は、伊藤委員にお願いいたします。

本日の議事はお手元に配付の議事日程のとおりでございます。

<協議事項>

入野教育長

それでは、協議事項の1番目、「中野区立上高田小学校・新井小学校の統合について」を協議いたします。

初めに、事務局からご説明をお願いします。

学校再編・地域連携担当課長

「中野区立上高田小学校・新井小学校の統合について」ご説明させていただきます。

中野区立小中学校再編計画（第2次）に基づきまして、令和2年4月1日付けで、区立学校を新たに1校設置し、2校を廃止するというものでございます。

こちらの内容でございますが、統合校の設置について5月31日の教育委員会定例会で決定するために、最終的な協議を行うものでございます。

詳細内容について、ご説明をいたします。

一つ目に、学校の設置でございます。記載にございます、区立小学校1校を設置いたします。

設置する区立小学校の位置でございますが、中野区上高田五丁目35番3号（現中野区立上高田小学校の位置）となります。

設置の年月日は、令和2年4月1日でございます。

次に、小学校の廃止についてでございます。区立小学校2校を廃止いたします。

廃止する区立小学校でございますが、中野区立上高田小学校、中野区立新井小学校となります。

廃止の年月日は、令和2年3月31日となります。

統合新校の校名候補でございます。統合委員会から報告された候補名でございますが、

「中野区立令和小学校」。選定の理由でございますが、令和という元号には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められている。子どもたちが保護者や地域の方々に見守られながら、ともに手を携え健やかに成長してほしいとの思いが込められている。統合新校は、新元号が決定された翌春に開校する。令和時代の始まりとともに、上高田小学校と新井小学校の両校が培い、大切にしてきた伝統や校風の上に、新たな文化を切り拓いていってほしいという願いが込められているというものでございます。

説明は以上でございます。

入野教育長

ただいまの説明に対し、各委員から、ご質問、ご発言がございましたら、お願いいたします。

田中委員

新しい学校の校名が令和ということで、この時代で非常にいい名称を選択されたのではないかなと思います。ただ、ほかでも随分令和という名称を使う学校が出てくるのかなという危惧もあるのですけれども、何かそういったところは情報があつたら教えていただければと思います。

学校再編・地域連携担当課長

こちらにつきましては、都内でございますけれども、調査をしてございます。来年開校する学校につきましては、ほぼないということを確認してございますので、今後につきましては、また出てくる可能性はございますけれども、そういった状況になってございます。

入野教育長

ありがとうございます。

ほかに、ご発言ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本件につきましては、本協議内容を踏まえ、次回の教育委員会で、議決事件として、決定したいと思います。

以上で、本協議を終了いたします。

<教育長及び委員活動報告>

入野教育長

それでは、報告事項に移ります。教育長及び教育委員活動報告を行います。

事務局から、ご報告願います。

子ども・教育政策課長

教育長及び委員活動報告でございます。

4月26日ひがしなかの幼稚園訪問に、入野教育長、渡邊委員、小林委員、伊藤委員が出席されました。

5月8日小学校教育研究会定期総会に、入野教育長が出席されました。

5月10日中野第一小学校開校式に、入野教育長と田中委員が出席されました。

同じく、5月10日第23期議員初顔合わせ会に、入野教育長、田中委員、小林委員が出席されました。

同じく、5月10日平成31年度中野区立中学校PTA連合会総会・懇親会に入野教育長が出席されました。

5月17日中学校長会との意見交換会に、入野教育長、渡邊委員、田中委員、小林委員、伊藤委員が出席されました。

5月20日平成31年度中野区立小学校PTA連合会総会・懇親会に、入野教育長が出席されました。

ご報告は以上でございます。

入野教育長

各委員から、補足、質問、その他の活動報告がございましたらお願いいたします。

田中委員

私も、幾つかこの中で参加させていただきましたけれども、中野第一小学校の開校式に出席してきました。600何十名という生徒数で非常に大規模な学校で、この写真でもわかるように、体育館びっしりというような状況の開校式でした。

新しい学校としてスタートするのに、とてもふさわしい雰囲気だったと思いますけれども、一つその中で印象に残ったのは校歌なのですけれども、ゆかりのある方ということで、作詞が松井五郎さんという方で、とても活躍されている作詞家で、NHKのEテレの「忍たま乱太郎」というアニメがあるのですけれども、その主題歌の作詞をずっとされていたという方で、それからもう1人作曲したのは沢田完さんという方ですけれども、それは「ドラえもん」の作曲をずっとされていたという、お2人とも大変活躍されている方だったので、その方たちがそれぞれお祝いの言葉を話してくださったのです。

その中で、「僕たちがつくるのは、言葉と音符でしかない」と。「この校歌に、心を入れるのは君たちなのだ」というようなメッセージを送ってくださって、僕の心にもとても

残りました。僕たちの希望は、君たちがずっとここで6年間この校歌を歌って、また社会に出て、また地域に戻ってきたときに、地域 みんなで歌えるように、地域の歌として残っていてほしいというようなことを話されていて、僕自身も校歌に対して改めて認識をしたところでした。

それから、もう一つ同じ日ですけれども、新しい区議会議員の先生方との顔合わせがありました。僕のイメージですけれど、とても若い議員の方がふえたような感じでした。初めての方も多いようですので、今我々が取り組んでいる教育行政についても、しっかりいろいろ理解していただいて、また意見をいただけるような形になっていけばいいなと思いました。

あともう一つ、中学校長会との意見交換会ですけれども、今回は特色のある教育活動についてというのがテーマで、各校長先生方から学校で取り組んでいる特色について話をいただきました。多くの学校で特色として取り上げていたのが、挨拶をきちんと励行するとか、あるいは読書活動にしっかり取り組むとか、あるいは地域と連携して活動する、こういったあたりは非常に各学校が取り組んでいる特色のように受けとめられました。校長先生方の、子どもたちに中野の地でしっかり育ててもらいたいという思いがそれぞれに感じられて、大変いい会だったように思いました。

以上です。

渡邊委員

今回、多くの報告事項があるのですけれども、私今回はあまり参加できなくて、ほかの委員の先生に申しわけなかったなと思っているのですが、ひがしなかの幼稚園の訪問に行ってまいりました。

ひがしなかの幼稚園につきましては、今現在は、幼稚園に関しては、中野区立は2園しかないなので、結構な回数伺わせていただいております。

非常に、今回は言葉を選ばせてもらってお話をさせていただくという形で、中野区の区長がかわりまして、中野区の幼稚園のあり方とか、就学前教育についての検討がもう一度なされている時期にあります。

ひがしなかの幼稚園ですけれども、区立幼稚園の役割とはどういうものなのか、今後どうしていくのか、そういうことは、これからもう少し慎重に考えていかなければいけないなという、そういう気持ちで、今回は訪問させていただきました。

通常、訪問ですから、子どもたちの様子とかということもありますけれども、まず我々

としては、自分たちが確認しなければいけないのは、施設、ハードの面で、正しいものが与えられているかどうかということで、少し噂になっていて、危険箇所があるのではないかというような噂があって、その危険箇所の確認。今の時点で、まだ大丈夫なのか、早急に対応すべきことなのかということを見せていただいて、施設の確認、実際に幼稚園舎はかなり老朽化していますけれども、今まで言っていたとおり、「エアコンがなかった」とか、いろいろとこの場でも言わせていただきましたけれども、そういった今度は環境整備、エアコンはきいているか、明るさは十分にあるのか、危険箇所はないのか。例えば、物を廊下に置きっぱなしにしていないとか、子どもたちが走ってぶつかるような物が置きっぱなしになっていないとか、そういった意味で確認をさせていただくわけですが、そういった物に関しては、非常に整備もされていますし、園長先生がしっかり取り組んでいるなど感じました。

子どもたちも、かなり元気に遊んでいて、今回お弁当も持ってきて、お弁当の内容も食事の様子も拝見しました。ただ、子どもたちの環境と子どもたちが受ける教育と、そういったものについて、区立幼稚園と私立幼稚園のあり方というのを、やはり慎重に考えていけないなど感じておりました。

だから、こちらのほうでは、とても就学前教育として行われている、一つの幼稚園としては非常によく、広さも十分で、環境もいいたろうというような形で、毎回ですけれども、とてもよくされているなど安心したところでもありますけれども、今後のあり方について、考えさせられた訪問であったこともたしかです。

それで、中学校校長会との意見交換会にも参加させていただきました。先ほど田中委員が言われたように、特色ある学校づくりということで、皆様方からお話を伺いました。

直接お顔は見ましたけれども、今回新しく中野区内の学校の校長になられた先生にも今回お話を伺えて、こうやった形でお話をすると、人柄とか、思いとかが少し感じられて、とてもいい機会だったと思います。

教育委員会の役割としては、特色のある学校、今回も上高田小学校・新井小学校の統合で、令和小学校ができるわけですが、学校はその地域、そしてその生徒たち、そして学校長によって、その学校のカラーというものがかなり出てくるものだと私は感じております。その地域性であったり、その地域性による子どもたちだったり、やはりその学校をまとめていく学校長の色というのが、かなり出てくるのだなと思っております。そういう意味では、今回就任いただいた学校長の先生もいろいろな思いがあって、非常に

よろしかったのではないかと考えております。

特徴を出せといっても学校ですから、そんなに突拍子もないことをできるわけではなかなかないのですけれども、それぞれの取組の中に、共通した部分としては、やはりこういったA Iというデジタルな世界の中であって、アナログみたいな本とか、そういった読書というものを、今後どうやっていくのかなということも話題になっておりましたし、わざわざ私のほうから話題にさせていただいたのですけれども、本を読むということは、読書活動ということは、今後どのように考えていますかというような形で、とてもすばらしいお考えと、私も読書に対する新しい知識をいろいろいただきました。

本当に、こういった対面して、いろいろと学校長の先生とお話する機会を、教育委員会としては、今後とっていただきたいなと私は考えております。そういった、すばらしい機会になったのではないかなと感じました。

以上です。

入野教育長

ありがとうございました。

伊藤委員

私のほうも、幼稚園と中学校長会との意見交換会に出席させていただきました。

幼稚園のほうは、数年前に参らせていただきましたので、当時の園児が2年ぐらいたって、随分と成長されていて頼もしく思いました。教育の成果を感じました。

それとともに、物理的な環境だけではなくて、お友達とか、先生とかさまざまな人的な配置も含んだ環境という中で、自然に養われていくものの大きさとともに、今度はそれだけでなく、さらに多面的に成長できるような、刺激とか工夫をどういうふうにしていったらいいかということをもっともっと考えていく必要があるのだなということを感じました。

中学校長会との意見交換では、特色ということだったのですけれども、先生方のお話をお聞きする中で、やはり地域に根差したというか、地域の成り立ち、地域の暮らしぶり、そういったことにまで少し掘り下げた形での、地域ということを見つめていただけると、子どもたちも、その地域をつくっていく人として主体的に参加できますし、地域の歴史とか暮らしを生かしたような特色というのを、公立の中学校だからこそ出していけるのではないかなということに気づかされたということもございました。

たくさん先生方からお話が聞けて、各校の雰囲気もわかって、とても有意義な会だった

と感じました。

以上です。

入野教育長

ありがとうございました。

小林委員

今、各委員の方々からのお話とかぶる部分もあると思うのですが、私も中学校の校長先生方との意見交換会については、非常に有意義な会であったと思っております。

残念ながら、お1人だけ特別支援学級の遠足でしょうか、重なってお越しいただけなかったのですが、まずは、各中学校の校長先生方、非常に生徒のために一生懸命取り組んでいらっしゃるということは、ひしひしと伝わってきました。

それから、今も話がかかなり出たわけでございますけれども、特色ある教育活動のあり方ということで、議論を深めたわけですが、それぞれ各学校で努力をしているとは思っています。

ただ、私が申し上げたのは、特色は目的ではなくて、あくまでも子どもたちが一人一人の個性、個性というのはよいところですね。一人一人の子どものよいところを伸ばしていくためにも、それぞれの学校が特色のある教育活動を通して、その子どもたちにいい教育を提供していくと。

公立学校の場合には、競争があるのかないのかとよく言われますけれども、私はいわゆる生徒を獲得するという、営業面のそういう競争というのは、公立学校はしないわけで、むしろ特色を出す、その特色のよさで競うことが大事ではないか。だから、人数集めではなくて、その学校が地域、さらには子どもたちの親の願い、そして、もちろん一番大事なことは子どもたちの実態を踏まえた特色を、どう出していくかということで、そこで、やはり私が非常に思ったのは、ある程度の予算の裏づけだとか、さまざまなそういったようなものもかなり重要になってきますので、今後教育委員会もできるだけ予算の使い方については、柔軟性をもった取組ができればいいなど、思いを新たにしました。

また、今回の中野第一小学校も、今新しい学校を建設しているわけですが、非常にいい機会です、やはり新しい学校がスタートして、新しい教育目標をつくって、そして地域の方々も非常に期待されていると思いますので、そういったソフトに合わせたハードをつくる。どちらかというと、今までの従来の考え方は、同じものを均一につくって、そして、形から入って中身をというのですけれども、むしろ教育内容、教育目標を踏まえた新しい校舎

づくりとか、そういうことも特色の第一歩として、私たちが取り組んでいかなければいけないことではないかなと強く感じました。

そういう点では、私たちも大変刺激を受けた会になったということをご報告したいと思えます。

以上です。

入野教育長

ありがとうございました。

それでは、私のほうからは、年度初めでしたので、関係団体の総会がたくさん行われまして、出席いたしました。

まず、幼児教育に関しては、中野区立幼稚園教育研究会の総会がございました。これは、公立幼稚園のほうの先生方が研究をする組織でございます。

そして、中野区立私立幼稚園連合会総会と懇親会にも出席をいたしました。これは、私立の幼稚園の園長先生方の会でございます。

そして今週ですが、中野区幼稚園教育研究会。これは、公立と私立が一緒になって、昭和たしか45年ぐらいから他区市に先駆けてできた研究会で、先生方が保育実践をいかに充実させていくかということで研究していただいているのですが、それぞれの会でご挨拶をさせていただきまして、子どもたちのための幼稚園教育を充実していただきたいというお話をしてまいりました。

そして、小中学校でございますが、中野区小学校教育研究会総会と、中学校の教育研究会の総会がございましたが、同日同時刻でしたので、私のほうは中野区小学校教育研究会の総会に参加してまいりました。ことしで70周年になるということで、中野区の教育に先生方一人一人の力を高めるということで、ご尽力いただけてきた会だなと思っております。ことしもテーマを新しいテーマに変えて取り組んでいただけるようでございます。

そして、それにあわせまして、各種いろいろな団体に参加してまいりましたけれど、まず、中野区立中学校PTA連合会の総会と懇親会、小学校のほうのPTA連合会の総会と懇親会ということで、参加してまいりました。やはり学校は、PTAのお力なくしては成り立たないところもありますし、各学校のPTAの会長さんが全体の、中学校は中学校全体、小学校は小学校全体のためにということで、日ごろからご尽力いただいていますことに感謝を申し上げてまいりました。小学校のほうの連合会は、ことしで70周年を迎えるということで、本当にこちらのほうも中野区の教育にご尽力いただいているなと思っております。

ます。

さらに、健全育成とか非行防止でご尽力いただいている保護司会とか青少年補導連絡会の総会にも参加させていただきまして、日ごろの活動へのお礼と、それから、今年度も引き続きご支援をお願いしたい旨をご挨拶してきました。

小さな力士たちが集いました、わんぱく相撲の中野区大会が5月19日の日曜日にございまして、名誉会長が教育委員会でございますので、そちらにも参加してまいりました。中野区の実行委員会を中心に行われていて、さまざまな団体にお力添えいただいています、特に区内の専門学校ですとか、大学の相撲部ですとかにボランティアで参加していただいて、子どもたちと楽しい時間を過ごしてもらいました。

最後でございます。なかの生涯学習大学のほうの開講式がございまして、そちらも参加させていただきました。3年間の大学ということで、最終的には学んだ成果を地域活動へということでやっていただいておりますが、ぜひいろいろな形で学校教育のほうにもご尽力いただけるような仕組みづくりができるといいなというような感想をもちました。

以上でございます。

よろしいでしょうか。

<事務局報告>

入野教育長

それでは、続いて事務局報告に移ります。

事務局報告の1番目、「令和2年度使用中野区立小学校教科用図書の採択に係る教科書展示会の実施について」の報告をお願いいたします。

指導室長

それでは、「令和2年度使用中野区立小学校教科用図書の採択に係る教科書展示の実施」についてご報告いたします。

資料をごらんください。

今回は、(1)法定展示会としまして、区立教育センターにて6月4日から27日まで実施いたします。

(2)の巡回展示会といたしまして、野方図書館、南部すこやか福祉センター、中央図書館の3カ所で資料にございます各期間に実施いたします。

昨年度は、区南部の会場が確保できず、各方面から区南部での会場設置をご要望いただいたところでございますけれども、今回は南部すこやか福祉センターが確保できましたの

で、ぜひご利用いただければと願っております。

各展示会場には、裏面にございます、意見用紙を準備してございます。この用紙にご記入いただきまして、区民の皆様から広くご意見を賜ればと願っております。

なお、このことにつきましては、本日から区のホームページでもお知らせしてございます。

報告は以上です。

入野教育長

ただいまの報告につきまして、質問、ご発言がございましたらお願いいたします。

渡邊委員

教科書採択にかかわるいろいろな行事というか、イベントというような形で、何年に一度なので、つつい毎回忘れてしまうのですけれど、確認として、この展示会を行ったときに以前言ったと思うのですけれど、多くの人に見ていただくに当たり、展示会の方法として、今年度新たに工夫されたことはございますかということで。なかなか用意できる教科書の数も限られるとかということで、なるべく多くの方に見やすい形で目につくような形の取組として、何かお考えになりましたかということと。

二つまとめて言わせていただいて。意見を聴取するための用紙ですけれども、東京都が定めたとか、上部の団体からの指示の内容なのか、これは中野区の独自の方法であって、実際にこれは今年度の変更がされたかということだけですけども、変更しなければいけないということではなくて、変更したのかということだけ確認をさせていただいてもよろしいでしょうか。

指導室長

まず、今回工夫したことというか、努力した点に関しましては、先ほど申し上げましたとおりに、なるべく区内でどの地域の方でも通いやすいように会場を確保した点でございます。どうしても南部のほうが、なかなか会場が確保することが難しかったのですけれども、今回南部すこやか福祉センターのほうでご承諾いただきまして、ここが確保できたということでございます。

周知もなるべくホームページでは行っているのですけれども、法定展示会につきましては、区報のほうでも6月5日に出して、ご周知をさせていただこうと考えております。

用紙につきましては、これは区の独自の用紙でございます。都で、特にこれで指示されたわけではございませけれども、細かくではなくて広く何でも書けるようなことで配慮

してございますので、中野区としましては、このところはこの形式で書いていただいて、それを選定調査委員や教育委員の皆様にも、結果をお示ししているところでございます。

以上です。

渡邊委員

ありがとうございました。

田中委員

ホームページと区報で周知をするということで、とてもいいと思うのですが、区報で出すときというのは、教科書の採択の仕組みみたいなことにも少し触れる予定なのですか。それとも、展示会を開きますというような案内なのでしょうか。その辺を教えてくださいなと思います。

指導室長

区報ということになりますと、どうしても紙面の制約がございますので、区報のほうはどちらかと申しますと、展示会があるということだけに限られてしまいます。

田中委員

僕もそうなのですが、今までこの仕事にかかわる前は、あまり教科書の採択がどういうふうに行われているかということを知らなかったもので、何かの場面で少し簡単にでも仕組みを区民の方に知ってもらおうような努力もあってもいいかなと思うので、検討いただければと思います。

渡邊委員

指導室にお願いという形になるかもしれないのですが、教科書採択は結構重要な仕事だと思っています。

時間もなくて、そしてなかなか教育委員が集まって、会をするということは、いろいろな教育委員会の中の仕事の中でも重要で、そういう機会を調整したりとか、なかなか難しいので、そういったできる機会をなるべく多くつくれるように努力していただいて、やっていただければいいなと。

教育委員会、こういった会議等についても、そういった時間も利用させていただくとか、少しそういう形を考えないと、どうしても安易というか、限られた時間の中でササッとやってしまうようなことのないようにしていきたいというのは、これは私の要望というか。

ですから、そういう形で時間がないところですが、ご検討よろしく申し上げます。

指導室長

事務局と相談しまして、来年度またございますので、ご相談して進めさせていただければと願っております。

入野教育長

ほかにございますでしょうか。

小林委員

今、教科書の展示に関しては、このとおり粛々とぜひ進めていただきたいなと思っています。

先ほど、田中委員もお話のように、教科書の採択の仕組みというのは、やはり一般の区民の方々になかなか周知徹底が図れないというか、わからないまま進んでいるというのが実態だと思います。

ただ、日本の教育の水準を大きく支えているのは、やはり教科書の存在ではないかと思うのです。検定教科書なので、どれを使ってもいいという、そういう一方の見方もあるのですが、改めて全ての教科書を見比べてみると、さまざまな、まさに特色があると。中野にとって何が一番ふさわしいかということを決めていくというのは、非常に大変な作業になると思うのですが、ぜひそういった法的な根拠であるとか、仕組みであるとか、それから教科書というのはどういうものなのかとか。例えば1枚の図に大きく図式化して展示会場に張るとか、何かそういう地道な努力も一方では必要ではないのかなと思いますので、いろいろご検討いただければと思いますので、これは要望であります。

以上です。

入野教育長

ありがとうございます。

伊藤委員

同じ意見なのですが、教科書展示会といわれても、わかりにくいかなと思うので、「これから新しく教科書を選ぶ候補になっている教科書をどれでも見られます」みたいな、子どもでもわかるようなというか、そういう仕組み全体でなくても、何のための展示会かということがわかるような一言とかあると、区民の皆さんの興味も喚起されるのかなと思いますので、簡単なものでもよいのかなと思いました。

以上です。

入野教育長

ありがとうございます。

指導室長

今現在、教育委員会のホームページの中に、教科書の一覧等が載っているところがございますので、そういうところを出して、トピックスで「ここにこういう説明がありますよ」というのが出るような、工夫を考えてみたいと思います。

入野教育長

たしか区で採択し始めたのは、平成 14 年頃だったかなと思いますので、その当時は結構仕組みですとか、周知をしていたかなと思います。今後やはり、しっかりとやっていくべき内容ですので、検討してまいりたいと思います。

ありがとうございました。

よろしいでしょうか。

それでは、本報告は、終了いたします。

ほかに事務局から報告はありますか。

子ども・教育政策課長

元号の改正に伴う例規の改正についてでございます。

元号の改正に伴いまして、教育委員会の関係します例規のうち、本年 5 月 1 日以降における特定の年月日を表示する規定があるものなどにつきまして、「平成」を「令和」に改めるための改正を検討してございます。次回以降、例規改正の準備が整い次第、教育委員会において議決事件としてご審議いただきたいと思いますと考えてございます。

以上でございます。

入野教育長

よろしいでしょうか。

それでは、最後に、事務局から、次回の開催についてご報告お願いいたします。

子ども・教育政策課長

次回の開催につきましては、5 月 31 日金曜日 10 時から、当教育委員会室において予定してございます。

以上でございます。

入野教育長

それでは、以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、教育委員会第 15 回定例会を閉じます。

ありがとうございました。

午前10時35分閉会